

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		グラフィックデザイン				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1年	担当講師	泉原昭人先生	講師略歴	スタジオマンゴスチン主宰。 短編アニメーションやイラストを制作。国際映画祭等で受賞、上映多数。		
授業形態	実習	総時間(単位)	120						
【授業の学習内容】									
Photoshop、Illustratorの二つのグラフィックソフトについて、実習制作を行いながら、技術習得を行う。									
【前期:到達目標】						【後期:到達目標】			
Photoshop、Illustratorの基礎技術を理解し、課題を制作することで素材の加工から印刷物が作成されるまでの行程を理解する。						Photoshop、Illustratorの基礎技術を理解し、課題を制作することで素材の加工から印刷物が作成されるまでの行程を理解する。			

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	<デザインワークについて>Photoshop、Illustratorはどのように使用されているか、ポスターの制作過程から学ぶ		1	<Illustrator>ツール機能 ブレンド(応用デザイン)	
2	<Photoshop> ・ドキュメント設定、レイヤー構造について		2	<Illustrator>ツール機能 アピアランス(線種について)	
3	<Photoshop> ・選択範囲1 合成加工		3	<Illustrator> 演習:地図を作成する	
4	<Photoshop> ・選択範囲2 合成加工		4	<Illustrator> 演習:ポスター制作①	
5	<Photoshop> ・選択範囲3 合成加工		5	<Illustrator> 演習:ポスター制作②	
6	<Photoshop> ・レイヤーマスク1		6	<Illustrator> 演習:ポスター制作③	
7	<Photoshop> ・レイヤーマスク2		7	<photoshop+Illustratr> 解像度について①	
8	<Photoshop> ・レイヤーマスク3		8	<photoshop+Illustratr> 解像度について②	
9	<Photoshop> ・色調補正1		9	<photoshop+Illustratr> 演習:映画祭ポスターの制作①	
10	<Photoshop> ・色調補正2		10	<photoshop+Illustratr> 演習:映画祭ポスターの制作②	
11	<Photoshop> ・色調補正3		11	<photoshop+Illustratr> 演習:映画祭ポスターの制作③	
12	<Illustrator>オブジェクト構造について		12	<photoshop+Illustratr> 課題:オリジナルポスター制作①	
13	<Illustrator> 主なツール機能について理解する 1		13	<photoshop+Illustratr> 課題:オリジナルポスター制作②	
14	<Illustrator> 主なツール機能について理解する 2		14	<photoshop+Illustratr> 課題:オリジナルポスター制作③	
15	<Illustrator>テキスト設定		15	課題提出	
評価方法	学習行程で作成したデータを必ず提出し、学期末に総合的に判断する。提出物が期日にまでに提出できない場合はマイナス評価の要因となる。		評価方法	学習行程で作成したデータを必ず提出し、学期末に総合的に判断する。提出物が期日にまでに提出できない場合はマイナス評価の要因となる。	
準備学習 時間外学習			使用教科書 教材 参考書		

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		放送業界基礎知識				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	Ⅱ Ⅲ Ⅳ	担当講師	石田先生	講師略歴	様々な制作会社を経て、フジテレビ、日本テレビなどの作品をこなすディレクター		
授業形態	実習	総時間(単位)	120						
【授業の学習内容】									
一年間を通して、ひとつの番組を作り上げていくことを目指します。そのため、授業の流れとしては、企画段階から、完パケまでの道筋の順で授業を進めていきます。授業形態としては、座学的な勉強のみならず、打ち合わせ形式を取りながらどのような番組を作り上げていくかなどを決めていきます。その後は、どんどん実技を取り入れながら、プロの現場さながらの授業に移行していきます。ほかにも、技術の学科や美術の学科などいくつかの学科とコラボレーションしながら、本当の番組制作を体験できればと思っています。									
【前期:到達目標】					【後期:到達目標】				
企画から台本まで作成及び、インサートVTRの作成					スタジオ実演で収録・完パケを目指します(スタジオ収録・編集・MAなど)				

前期			後期		
授業計画・内容			授業計画・内容		
1	映像を観る側から創る側へ		1	コンテンツ制作における台本確認授業	
2	そもそも映像とは？映像はこの先の最強ツール		2	コンテンツ制作における台本確認授業	
3	創る側の自分、今はどこにいる？「商業orアート」		3	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
4	誰かに届ける事が映像の本質		4	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
5	誰かのための映像、大事なこと		5	コンテンツ制作におけるスタジオ実践 授業 * スタジオ	
6	ニーズこそが映像クリエイターの指針		6	コンテンツ制作リハーサル授業 * スタジオ	
7	誰かを定義する「ペルソナ」の作り方 基本 具体的ペルソナから見えてくる映像		7	コンテンツ制作本番授業 * スタジオ	
8	映像制作に於ける仕事の種類と概念		8	コンテンツ制作編集授業	
9	良い映像の源泉は「アイデア」その概念と構築方法①		9	コンテンツ制作編集授業	
10	良い映像の源泉は「アイデア」その概念と構築方法②		10	コンテンツ制作編集授業及びMA用ナレーション原稿作成	
11	アイデアはどこからくる？ 発想力を鍛える映像クリエイターの思考法①		11	コンテンツ制作MA授業	
12	アイデアはどこからくる？ 発想力を鍛える映像クリエイターの思考法②		12	コンテンツ制作MA授業	
13	コンテンツ分解思考法① 逆算・再構築・模倣の技		13	コンテンツ制作MA授業 * ナレーション収録	
14	コンテンツ分解思考法② 逆算・再構築・模倣の技		14	コンテンツ制作MA授業 * ナレーション収録	
15	企画書という最強の武器を身に着ける①		15	試写 反省会 授業	
評価方法	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。		評価方法	どれだけ授業に積極的に参加・取り組みをしたか。	
準備学習 時間外学習	技術の学生と美術の学生との番組制作における打ち合わせとなる授業。 必要に応じたロケを学生たちに撮影してきてもらう		使用教科書 教材 参考書	「番組制作の流れ、など学生用に作成したものを使用ほか 弊社が制作した番組のVTRと台本。 * 台本などは外部への流出を防ぐため毎回貸与という形でできればと思っています。	

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		カメラワーク				開講 区分	前期	後期	通年
学科・専攻		総合芸術科				昼間一部			
必修 選択	必修	年次	1年	担当講師	大木先生	講師 略歴	CM 映画 ドキュメンタリーなどの撮影監督・演出。 日本映画撮影監督協会所属		
授業 形態	実習	総時間 (単位)	120						
【授業の学習内容】 表現者及び表現を支える技術者の育成を目的として、映画がどのような要素で構成されているかを説明する。									
【前期:到達目標】 映画表現についての概略理解						【後期:到達目標】			

前期					後期				
授業計画・内容					授業計画・内容				
1	自己紹介・概要説明				1	フィルムからデジタルへ／映像の原理、カメラの仕組み、撮影機材など			
2	映像表現とはなにか				2	撮影(基礎)／白、黒、グレーの立方体をそれぞれ同じバックで撮影			
3	黒澤明の方法				3	フレーミング／画面比・画角と構図の作り方			
4	ワンシーンワンカットの誘惑・溝口健二の場合				4	画を繋ぐ／サイズの選択、カメラアングル			
5	カットを繋ぐ・小津安二郎と成瀬巳喜男				5	カット割、イマジナリーラインなど			
6	ビジュアルイメージの研究				6	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その1			
7	ライティング①				7	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その2			
8	ライティング②				8	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その3			
9	色彩の研究				9	オリジナルシナリオをもとに『黒い箱』その4			
10	フレーミング				10	名作のワンシーンをコピーする『乱れる』			
11	映画的時間				11	名作のワンシーンをコピーする『暗殺の森』			
12	撮影手順。撮影用語①				12	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影①			
13	撮影手順。撮影用語②				13	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影②			
14	撮影手順。撮影用語③				14	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影③			
15	まとめ				15	カメラ、レンズの基礎知識、特殊撮影④			
評価方法	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)				評価方法	美的センスと表現スキル、応用力40% 出席率及び向上心30% 機材取り扱い等の習熟度・技術の理解度20% 協調性10% の割合で総合的判断を下す(やむを得ない欠席の場合、レポート提出を義務付ける)			
準備学習 時間外学習	映画館での映画鑑賞				使用教科書 教材 参考書	「映画術」トリュフォー&ヒッチコック著「マスターオブライイト」Dシェーファー&Lサルバート著「映画表現の教科書」バン・シル著「映画の文法」Dアリホン著「撮影監督」小野民樹著「映画撮影とは何か」山口猛篇、など			

2025年度 授業シラバス

FC TOKYO

授業名		スタジオワーク				開講区分	前期	後期	通年
学科・専攻		総合芸術科				昼間一部			
必修選択	必修	年次	1	担当講師	高木稔	講師略歴	(株)ニューテレスにて20数年間VEとして番組制作の最前線に携わる。「はねるのトビら」「ものまね紅白」等、主にCXのバラエティ番組を中心に従事してきた、それ以外にもドラマ、映画、中継等にも携わる。		
授業形態	実習	総時間	120						
【授業の学習内容】									
スタジオカメラの技術の習得、スタジオサブシステムの理解、現場に必要な最低限の知識とスキルを必要性を感じさせながら学習することを目標とする。									
【前期:到達目標】						【後期:到達目標】			
番組制作を安全に行う為の最低限のスキルを身に付ける						番組制作を行う為の理解をより深める。			

前期					後期				
授業計画・内容					授業計画・内容				
1	オリエンテーリング、講師紹介 機材取り扱い基礎(機材の大切さ、身体の安全の重要性)				1	VE基礎④(カメラ調整、色温度、カメラコントロール)			
2	番組制作技術①(番組ができるまで等)				2	番組制作技術②(バラエティスタジオ技術)			
3	テレビ技術基礎①(テレビの仕組み)				3	カメラオペレート④			
4	カメラ基礎①(カメラの仕組み)				4	サブシステム②(オペレート)			
5	カメラオペレート①				5	カメラ基礎③(GoPro,POV,デジ等小型カメラ)			
6	テレビ技術基礎②(信号、タイムコード、ファイルフォーマット)				6	番組制作技術③(ドラマ、中継技術)			
7	サブシステム①(サブの役割)				7	VE基礎⑤(VTR系)			
8	カメラオペレート②				8	カメラオペレート⑤			
9	カメラ基礎②(レンズ、被写界深度、バックフォーカス、センサーサイズ等)				9	番組制作技術④(バラエティロケ技術)			
10	カメラオペレート③				10	カメラオペレート⑥			
11	VE基礎①(VEとは)				11	カメラ基礎④(特機の種類、特殊撮影)			
12	VE基礎②(VEとは)				12	カメラ基礎⑤(特機の種類、特殊撮影)			
13	VE基礎③(VEとは)				13	特別講座(秋山カメラマン)			
14	スタジオセッティング(SET~カメラチェック~カメ調)				14	特別講座(秋山カメラマン)			
15	スタジオセッティング(SET~カメラチェック~カメ調)				15	総括授業			
評価方法	実技、レポート、授業に対する姿勢				評価方法	実技、レポート、授業に対する姿勢			
準備学習 時間外学習	番組制作現場実習等				使用教科書 教材 参考書	TVスタジオ、サブコン、スタジオカメラ、その他適宜			